

ジョウザンケイクロハナアブ



澄川森林で小春日和の下で昼の弁当を食べていました。参加人数が多いので焚き火を囲める人数からはみ出されて、少し離れた場所に陣取りました。作りかけの避難小屋の柱の辺りでハエのような小さな虫が飛んでいました。フユユスリカ以外の虫の今年の初見でした。近くの雪にさして立てていた高枝切鋸に止まってくれた映像をご覧ください。いま少し季節が過ぎますとよく見かける虫なのです。2015年4月9日12時

18分と記録されました。クロハナアブはよく似た仲間が多くて困ります。帰宅して写真を拡大して図鑑やネット画像を参考にしてジョウザンケイクロハナアブと同定しました。またしても定山溪ができました。札幌南区が主な産地のようですが、調べても分布範囲がわかりません。図鑑の説明でも出現時期は6~7月と記載されていますが、この4月初旬の出現はこの付近で除伐作業をしていますので、むりくり目覚めさせられ、日和に誘われて飛び出したものと思われれます。体長は8~11.5mmです。



E2区のエアカシヤ退治はほぼ終了しました。この辺りは特に放置された時間が長かったことがコクワやヤマブドウの蔓類のはびこりの様子でわかります。それら蔓に覆われて圧死させられた枯れ木が多く、惨憺たる林相なのです。殆どの樹が蔓がらみで、まともに倒れてくれない中で無事に終えたことはチェンソー組、チルホール組、枝や蔓の整理組、集材組とのよき連携が自発的に遅滞なく進みますので、とても気持ちが良いのです。わが協会メンバーの技術の練度がさらに高まったと実感したことでした。



この日雪解けもかなり進みまして、5~6台が駐車できました。次回からは少し工夫すれば全車が駐車できると思われれます。